報 告 書

平成13年度教育振興会議主催
国内外医学教育実状調査ミッション報告書

埼玉医科大学医学基礎　英語
笹島　　茂

1.　期間

平成　14年　2月12日～2月23日

2.　調査施設名

1) リンショーピン大学医学部（スウェーデン）
　平成　14年　2月13日～15日（3日間）
2) リバプール大学医学部（イギリス）
　平成　14年　2月18日～20日（3日間）

3.　調査者

医学基礎部門英語　講師　　笹島　　茂
第2内科　　助教授　　松本　万夫

4.　調査目的

本調査の目的は，医学部における英語教育のカリキュラム，指導法，教材，評価などの効果的なあり方の基礎資料として，海外の医学部の英語使用状況及び医療に特化した英語を把握することである．

具体的には次のような下位目標を設定した．

・訪問する医科大学の授業，実習，医療活動などを可能な範囲でビデオ撮影を行ない，教材作成の資料とする．
・実際に使用されている書類，医療情報などを収集し，教材作成の資料とする．
・カリキュラム，シラバスなどを入手し，英語カリキュラム改善に役立てる．
・教員，学生と交流を図り，医療関係の情報交換が可能なメーリングリスト，ウェッブサイトなどの作成の基礎データを収集する．

5.　調査対象と内容

以下の項目に関連して調査を行った．

1）　授業のビデオ撮影（教員と学生）
2）　実習のビデオ撮影（教員と学生）
3）　教員との面談
4）　学生との懇談
5）　医療情報の収集
6）　病院見学（可能であればビデオ撮影）

上記の調査項目を基本に，リンショーピン大学では，母語ではない英語がどのように使用されるのかを中心に調査する．また，今後の交流にも役立つように，交換留学を担当している人を中心に留学関連の資料等も収集する．リバプール大学では，英語が実際にどのように，授業や医療活動で使用されているのかを中心に調査する．また，今後の交流に役立つように，多くの医師，教員及び学生と面談し，医学教育の実状を聞く．さらに，医療関連の書籍等を収集する．

6.　調査日程

2月12日（火）成田出発
コペンハーゲン経由　リンショーピン到着　リンショーピン泊
2月13日（水），14日（木），15日（金）
リンショーピン大学訪問
2月16日（土）移動
リンショーピン出発–コペンハーゲン経由　ロンドン到着　ロンドン泊
2月17日（日）移動
ロンドン–リバプール（列車）
2月18日（月），19日（火），20日（水）
リバプール大学訪問
2月23日（土）松本　帰国
2月27日（水）笹島　帰国

リンショーピン空港

7. 調査結果

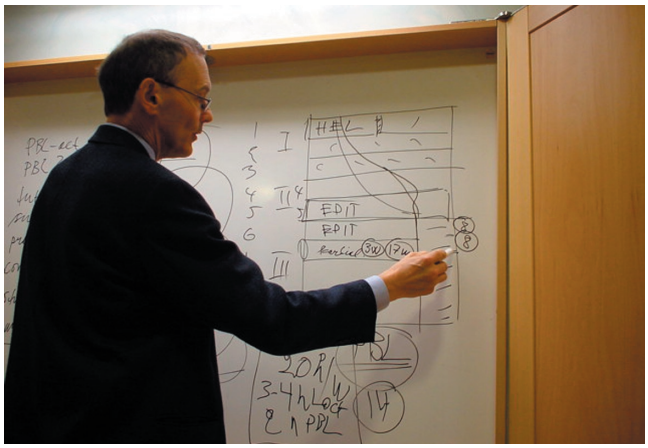
2月13日（水）

マーカソン教授，秘書のルンドレン氏と今回の訪問の日程と内容について話し合う．大学の教育内容についておおまかな説明があり，学生の授業の様子や実習の様子を見学できることになった．

1）大学カリキュラムの概要と留学や国際交流関係の説明（ビデオ収録済み）
2）ベルグデール教授からITを利用した医学セミナー（EDIT）（コンピュータを使ったPBL）の概要説明
3）心臓科見学（ビデオ収録済み）
　実習中の学生にインタビュー（ビデオ収録済み）
4）交換留学生として埼玉医科大学を訪れた学生ガブリエルと会食しながら，スウェーデンの医療活動情報を収集

2月14日（木）

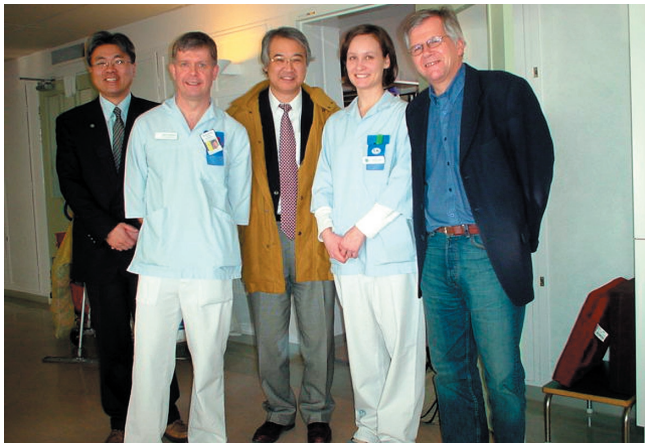
5）EDIT（コンピュータを使ったPBL）の授業（ロインデール先生担当）を参観する．（ビデオ収録済み）
　ふだんはもちろん母語のスウェーデン語で行っているが，ときに英語でも行うそうである．
6）整形外科を見学
　ウオールストローム教授から概要の説明（ビデオ収録済み）
　マルチ教育（Multifunctional Education）（医学生，看護学生，作業療法士，理学療法士などがともに学ぶ演習）の説明
　学生の実習の様子とインタビュー（ビデオ収録済み）
7）パーソン氏からEDITの概要の説明（ビデオ収録済み）
8）図書館を見学
　学生がPBLの下調べを熱心に行っていた．（ビデオ収録済み）
9）マーカソン教授らと会食
　リンショーピン大学の教育について話を聞く．

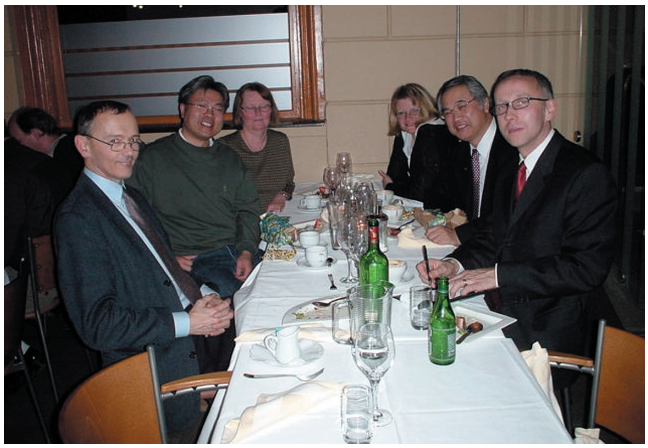

説明するベルグデール教授

EDIT の様子 1

松本助教授と心臓科のフラー先生

EDIT の様子 2


整形外科のスタッフと


マーカソン教授らと会食

2月15日（金）

10）精神科の講義を聴講（ビデオ収録済み）
特別に英語で講義をするということであったが，ごく自然な講義だった．
11）交換留学生と面談（ビデオ収録済み）

秘書のルンドレン氏及び留学生と

・リンショーピン大学調査まとめ

リンショーピン大学では，特に英語関係の書籍等は入手しなかった．しかし，英語に関しては，第2言語と位置づけれられているので，医療の現場では当然重要な言語であることがよくわかった．英語教育については，大学入学前に基本的なコミュニケーション能力を育成しているので，医学部に入学した時点で英語はすでに必要不可欠な言語となっているわけである．スウェーデン語は英語と言語的に近いという理由もあり，リンショーピンの町中でもほとんどの人が英語を話すことができる．

リンショーピンの教会

2月18日（月）

リバプール大学血液科のコーリー教授を訪ねる．
12）血液科を訪問，見学（ビデオ収録済み）
コーリー教授とマートルー先生らが出迎え，簡単なあいさつと打ち合わせの後，診療の様子を見学
13）臨床技術実習授業見学（ビデオ収録済み）
交換留学生として埼玉医科大学に来たことのある

リバプール大学にて

ジョージの案内で臨床技術教材センター（Clinical Skills Resource Centre）へ行き，診療などの実習の様子を見せてもらう．

14）コーリー教授の部屋で卒後ミーティング（Postgraduate Meeting）に参加（ビデオ収録済み）

15）PBLクラス（クリスマス先生担当）を参観（ビデオ収録済み）

16）エイジャー先生の講義参観（ビデオ収録済み）

17）コーリー教授と血液科のスタッフと会食
リバプール大学の医学教育について話を聞く．

2月19日（火）

18）PBLのクラス（ダイバー先生）参観（ビデオ収録済み）
5年生のイクバルの案内でPBLのクラスを見学．なかなか活発だった．

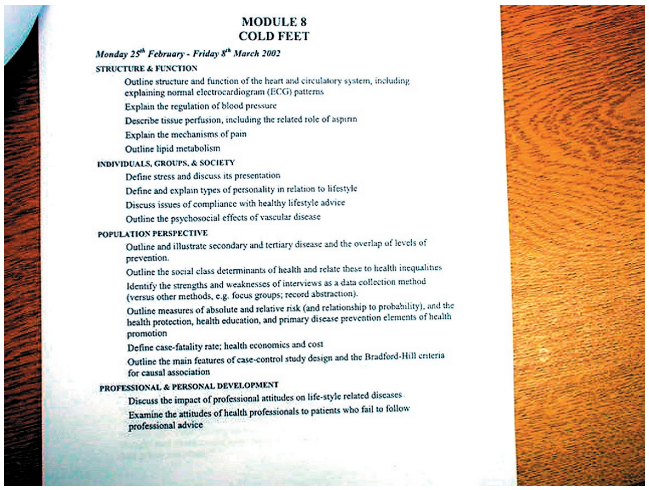
19）デインジャー教授の案内で解剖センター (Human Anatomy Research Centre）を見学（ビデオ収録済み）
セキュリティーシステムが整っており，たいへんすばらしい施設だった．学生が自学自習できるシステムになっている．PBLなどの準備やそこで疑問に感じた点をさらに深められるように，マニュアルと教材が整っている．また，疑問点はチューターなどに常時相談できるシステムになっている．数人の学生にインタビューした．

20）イングランドの医学の歴史の授業参観（ビデオ収録済み）

21）5年生の学生3人にインタビュー（ビデオ収録済み）

22）コーリー教授宅訪問（ビデオ収録済み）
マートルー先生やこれまでに交換留学に参加した学生が招かれていた．聞けば，このように埼玉医科大学に短期留学した学生が一同に会することはいままでなかったそうで，日本でのことや現在の学習内容や仕事のことが話題になった．

PBL 授業の様子


MODULE 8
COLD FEET
Monday 25th February - Friday 8th March 2002
STRUCTURE & FUNCTION
Outline structure and function of the heart and circulatory system, including explaining normal electrocardiogram (ECG) patterns
Explain the regulation of blood pressure
Describe tissue perfusion, including the related role of aspirin
Explain the mechanisms of pain
Outline lipid metabolism
INDIVIDUALS, GROUPS, & SOCIETY
Define stress and discuss its presentation
Define and explain types of personality in relation to lifestyle
Discuss issues of compliance with healthy lifestyle advice
Outline the psychosocial effects of vascular disease
POPULATION PERSPECTIVE
Outline and illustrate secondary and tertiary disease and the overlap of levels of prevention.
Outline the social class determinants of health and relate these to health inequalities
Identify the strengths and weaknesses of interviews as a data collection method (versus other methods, e.g. focus groups; record abstraction).
Outline measures of absolute and relative risk (and relationship to probability), and the health protection, health education, and primary disease prevention elements of health promotion
Define case-fatality rate; health economics and cost
Outline the main features of case-control study design and the Bradford-Hill criteria for causal association
PROFESSIONAL & PERSONAL DEVELOPMENT
Discuss the impact of professional attitudes on life-style related diseases
Examine the attitudes of health professionals to patients who fail to follow professional advice
PBL 授業資料

イクバルと 5 年生の学生

医学の歴史の授業の様子

マートルー先生（中央右），コーリー教授（右）と血液科にて

2月20日（水）

23）マートルー先生の診療見学（ビデオ収録済み）
およそ10人程度の患者と医者の会話を記録した．すべての患者に趣旨を話し，了解を取り，ビデオに収めた．（同意を得られない場合は当然遠慮し，患者のプライバシーには配慮してある．）
専門医への照会（referral）の場面なので，診断の深い内容には触れられなかったが，英語教材としては貴重な資料が得られた．

収集教材資料：

・リバプール大学カリキュラムハンドブック
・リバプール大学病院各種パンフレット

・リバプール大学調査まとめ

授業，実習，診療など，大学医学部の実際の場面を見学できたこと，また，ビデオに収めることができたことは，今後の英語授業の展開と教材などへの応用の面で貴重なものとなった．また，実際に現場で働く人と直接意見交換ができたことは有意義であった．特に，PBLの授業は内容的に異なる面もあったが，実態は，埼玉医科大学の実践とそれほど変わるものではなく，英語さえできれば日本の医学生も同様に活動できるという印象を得た．

8　調査のまとめ

目的に示した通り，多量のビデオ映像の記録を収集することができた．このビデオは実際に医科大学にかかわる場面でどのように英語が使われているかを理解するために役立てるものであるので，授業や仕事などのあらゆる場面をできるかぎり記録した．もちろんすべて許可を得たもので，使用に関しては教育の目的に限ることを前提としてある．総記録時間はおよそ25時間程度になった．すべてが有効に使えるわけではないが，現在分析中である．また，今回多くの医師や学生との交流ができたことは有意義であった．笹島は医療の分野については知識がないので，笹島にとっては今回の訪問で得られたネットワークはたいへん貴重なものとなった．その点，本調査に同行し協力してくれた松本助教授からの医師としての立場からさまざま場面で適切なアドバイスは，笹島にとっては非常に有効なものとなった．

収集したビデオ及び教材は，現在，英語の授業で活用している．今後はさらに医療分野のさまざまな場面をビデオとして記録し，主に，言語的な面から使用されている英語を分析し，より有効な英語指導に役立てたいと考えている．機会があれば，埼玉医科大学の交換留学生がどのように活動しているかを，英語教員の立場から分析してみたいと考えている．

謝　辞

本ミッションは笹島が申請したが，笹島は医療関連の知識がなく，調査に困難が予想されたので，松本助教授にアドバイザーとして同行をお願いした．その他，推薦者である片山勲教授には本ミッションの発案からお世話になった．リンショーピン大学関連では野村正彦教授からいろいろとアドバイスをいただいた．リバプール大学関連では片山教授はもちろんのこと，茅野助教授にもたいへんお世話になった．また，川端教授には英語教育の面で協力をいただき，平敷教授にも関連の話をうかがいお世話になった．

さいごに，国際交流プログラムの推進のおかげで，本調査は予想以上にうまく進んだことを述べておきたい．また，国際交流プログラム推進にたずさわるすべての方に感謝したい．可能なかぎり，今後も英語教育の立場から海外の多くの医科大学に訪問できればと考えている．

© 2003 The Medical Society of Saitama Medical School